

7月26日 キラキラ研修会

テーマ
病理・細胞診

病理・細胞診はわれわれ検査技師や病理医が行っている検査です
採取された臓器・できあがった標本から得られる情報は貴重なものばかりです



迅速診断で見つからなかった異常が、
後から通常の病理診断で見つかることがある
ということを実感しました

胆汁や膵液提出時は、
消化酵素の影響をできるだけ防げるように
採取後直ちに提出する必要があることを
学んだ

